

株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
期末配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人および 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 TEL 0120-094-777(通話料無料)
上場証券取引所	東京証券取引所
公告の方法	電子公告により行います。 公告掲載URL http://www.osaka-soda.co.jp/ (ただし、やむを得ない事由により電子公告を行うことができない場合、 日本経済新聞に掲載する方法により行います。)

(ご注意)

- 1.株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)にお問合せください。
- 2.特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国本支店でもお取次ぎいたします。
- 3.未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行全国本支店でお支払いいたします。

単元未満株式をお持ちの株主さまへ

当社は、1単元(1,000株)に満たない当社株式を所有されている株主さまの便宜をはかるため、「単元未満株式の買増・買取制度」を実施しております。

お手続きなどの詳細に関しましては、証券会社にて株式を管理されている場合はお取引先の証券会社に、特別口座にて株式を管理されている場合は、三菱UFJ信託銀行にお問合せください。

当社グループをより知っていただくために、ホームページもご活用ください。

- 最新の情報はこちらをご覧ください。
ホームページアドレス
<http://www.osaka-soda.co.jp/>



トップページ

株主のみなさまへ

第161期 報告書

平成27年4月1日から平成28年3月31日まで

証券コード：4046

<http://www.osaka-soda.co.jp/>

 Something **Better** with Chemicals

株主のみなさまへ

株主のみなさまには、平素より格別のご支援を賜り厚くお礼申しあげます。

本年4月の熊本地震により被災されたみなさまには、心よりお見舞い申しあげますとともに、被災地の一日も早い復興をお祈り申しあげます。

さて、当社グループでは、第161期(平成27年4月1日から平成28年3月31日まで)の決算を行いましたので、ここに事業の概況をご報告申しあげます。

平成28年6月

代表取締役
社長執行役員

佐藤 存



第161期の業績概要

当期のわが国経済は、原燃料価格の下落による企業収益の改善や設備投資に持ち直しの動きが見られるなど、緩やかな回復基調が続きました。一方で、世界経済は、米国で景気回復が進みましたが、中国をはじめとした新興国や資源国の景気の減速により、先行き不透明な状況で推移してまいりました。

このような環境のもと、当社グループは、5か年の中期経営計画『NEXT FRONTIER-100』の2年目にあたり、同計画の4つの基本方針である「新製品・新規事業

の創出」、「海外事業の拡大」、「既存事業の再構築・再強化」および「ヘルスケア関連事業の育成」に注力し、事業の拡大・強化ならびにコスト低減に取り組んでまいりました。特に海外事業については、アジアでの販売拠点の統合を実施し、海外現地法人に経営資源を集約し、営業力をより強化できる体制を構築いたしました。

以上の結果、当連結会計年度の売上高は1,021億2千5百万円と前期比0.7%の増加となりました。利益面におきましては、機能化学品事業の伸長により営業利益は64億4千3百万円と前期比24.6%の増加、経常利益も64億3千9百万円と前期比12.0%の増加、親会社株主に

帰属する当期純利益も36億6百万円と前期比4.5%の増加となり、売上高、各利益とも前年度に続き過去最高となりました。

なお、期末配当金につきましては創立100周年記念配当1円を加え1株につき5円とし、中間配当金の5円とあわせ、1株につき通期では10円(内、記念配当2円)とさせていただきます。

今後の対処すべき課題

当社グループは昨年10月に創立100周年を迎えました。これを機に企業理念を刷新し、次の100年に向けて、環境変化へ柔軟に対応し、活力と革新力のある挑戦するグローバル企業として発展してまいります。

今後の経済見通しにつきましては、国内は為替や株価の変動幅が大きく、企業業績等の先行きが不透明な状況であり、海外でも新興国や資源国における景気減速が長期にわたることが懸念されております。

化学業界ではこのような環境のもと、日本を含め世界規模で事業の統合や再編が進行しており、さらにシェールガスを原料とする新たなエチレンプラントが来年から本格的に稼働するなど、成長基盤構築の動きが本格化

しつつあります。

このような状況をふまえ、当社グループは『NEXT FRONTIER-100』の基本方針のもと、事業のさらなる拡大と強化に取り組んでまいります。

新製品・新規事業につきましては、営業・研究・生産の三位一体となった体制を強化し、研究開発のスピードアップを図ります。

海外事業につきましては、アジアでの販売拠点の統合による商流拡大、顧客開拓等、営業の強化を一層推進するとともに、将来の生産・開発拠点の展開につなげるべく、現地顧客・製造メーカーとのさらなる関係強化を図ってまいります。

既存事業の再構築・再強化につきましては、当社の原点である電解事業の強みを生かし原料から一貫生産しているクロール・アルカリおよびアリルクロライド・エピクロルヒドリン事業の徹底した競争力強化を図ってまいります。

ヘルスケア関連事業の強化につきましては、当社グループの第三の収益の柱と位置づけ、周辺事業や新たな技術を実現するため、重点的に経営資源を投入してまいります。

株主のみなさまにおかれましては、今後とも一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申しあげます。



OSAKA SODA

グループ企業理念

高い志をもち 独創的なものづくりで 豊かな社会の実現に貢献します

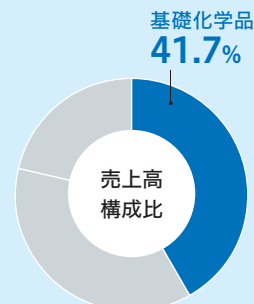
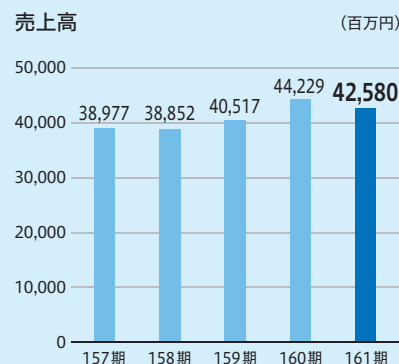
基礎化学品

売上高 **425億8千万円** 前期比**3.7%**減少 ↓

クロール・アルカリは、地域別に供給体制および物流機能を強化し、市場に密着した営業活動を展開してまいりましたが、市況の影響により売上高が減少しました。

エピクロルヒドリンは、海外向け販売数量は増加しましたが、原燃料価格下落による影響を受けて、売上高が減少しました。

以上の結果、基礎化学品の売上高は、425億8千万円と前期比3.7%の減少となりました。

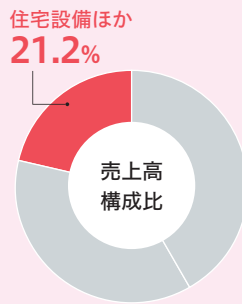
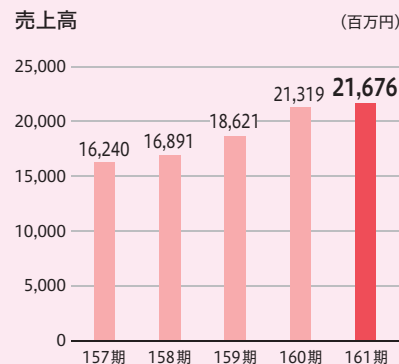


住宅設備ほか

売上高 **216億7千6百万円** 前期比**1.7%**増加 ↑

エンジニアリング事業は、国内外で大型工事件数が減少しましたが、化粧板および生活関連商品の販売が堅調に推移したことにより、売上高が増加しました。

以上の結果、住宅設備ほかの売上高は、216億7千6百万円と前期比1.7%の増加となりました。



機能化学品

売上高 **378億6千7百万円** 前期比**5.7%**増加 ↑

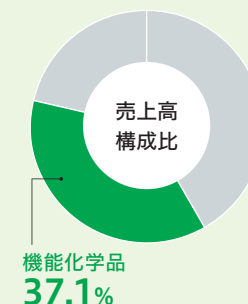
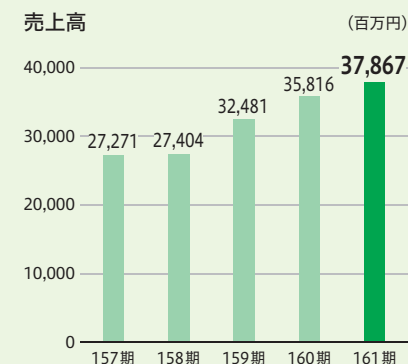
エピクロルヒドリンゴム関連は、中国の成長鈍化の影響により同国向け輸出が減少しましたが、その他のアジア向け自動車用途の需要が堅調に推移したことにより、売上高が増加しました。

ダップ樹脂は、UVインキ用途で国内販売が堅調に推移し、海外についても欧米向けUVインキ用途が増加したため、売上高が増加しました。

アリルエーテル類は、中国経済の停滞の影響により、売上高が減少しました。

医薬品精製材料は、糖尿病治療薬用途を中心に中国およびインド市場向けが増加したことに加え、欧州市場向けも堅調に推移したことにより、売上高が増加しました。

医薬品原薬・中間体は、抗インフルエンザ薬、抗



結核薬、抗がん剤等の中間体および新規原薬が堅調に推移し、売上高が増加しました。

電極は、電解銅箔用およびソーダ用電極の需要増加により、売上高が増加しました。

以上の結果、機能化学品の売上高は、378億6千7百万円と前期比5.7%の増加となりました。

大阪ソーダグループのセグメントと主要製品

● セグメント

基礎化学品

● 主要製品

かせいソーダ、塩酸、液化塩素、塩素ガス、次亜塩素酸ソーダ、亜塩素酸ソーダ、塩素酸ソーダ、かせいカリ、水素ガス、エピクロルヒドリン、アリルクロライド、塗料原料、接着剤原料など

機能化学品

アリルエーテル類、エピクロルヒドリンゴム、ダップ樹脂、省エネタイヤ用改質剤、医薬品精製材料、レンズ材料、感光性樹脂、カラーレジスト、電極、医薬品原薬・中間体、光学活性体、グラスファイバー、資源リサイクルなど

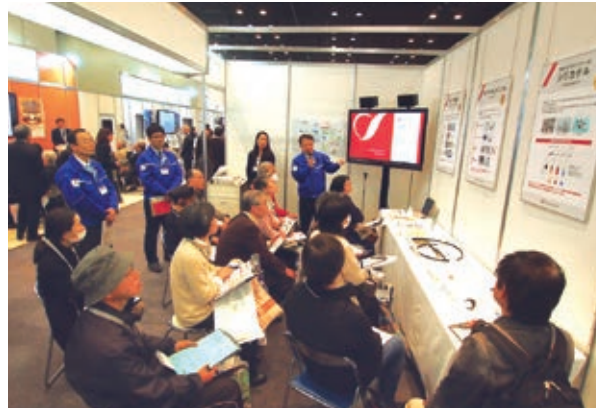
住宅設備ほか

ダップ加工材、住宅関連製品、健康食品、化学薬品の輸送・貯蔵、化学プラント、環境保全設備建設など

① 個人投資家向け資産運用フェアに出展

当社は、2015年12月11日(金)・12日(土)の2日間にわたり、ベルサール渋谷ガーデンで開催された「野村IR資産運用フェア2015」に出展しました。このイベントは、上場企業と個人投資家のみなさまが対話できる場として開催され、当社のブース内でも、事業内容や強みについて説明やパネル展示を実施し、多くの方々にご参加いただくことができました。

当社は今後も積極的なIR活動を行い、企業価値向上に努めてまいります。



② 上海、バンコクの現地法人と駐在員事務所をそれぞれ統合

当社グループではアジア市場を中心にグローバルニッチトップ製品や今後の新製品・新規事業の拡大を計画しております。そのため2016年1月に当社グループの商社部門ダイソーケミカルの上海、バンコクの現地法人と大阪ソーダの駐在員事務所をそれぞれ統合しました。

今後は統合によって強化された拠点機能を活用し、さらに他の拠点との連携を深めることで、既存事業の深耕と新たな市場ニーズの探索を強化してまいります。



大曹化工貿易(上海)有限公司

③ エピクロルヒドリンの製造設備を増強

当社は、自動車用塗料や建築用接着剤の原料として、新興国で需要が増加しているエピクロルヒドリンの生産能力増強工事を水島工場(岡山県倉敷市)で行いました。

2016年4月に工事が完了し、生産能力は2割アップの年間7万2千トンとなり、順調に稼働を開始しました。

今後も世界に向けて高品質のエピクロルヒドリンを安定供給できるよう安全操業を目指してまいります。



④ 新研究棟建設を決定

当社は、兵庫県尼崎市の研究センター敷地内に約25億円を投じ、新研究棟を建設することを決定しました。新棟には当社およびグループ各社の研究開発部門を集約し、営業・研究・生産の三位一体となったR&D体制を強化することで、開発のスピードアップを図ってまいります。また、医薬品関連の新設備を導入し、より高度な技術ニーズに対応できる体制を構築します。完成は2017年10月の予定です。



連結財務諸表

連結貸借対照表(要約)

(単位:百万円)

科 目	前連結会計期末 (平成27年3月31日現在)	当連結会計期末 (平成28年3月31日現在)
資産の部		
流動資産	58,450	57,137
固定資産	42,443	39,890
有形固定資産	20,586	20,357
無形固定資産	1,159	1,192
投資その他の資産	20,697	18,339
資産合計	100,893	97,027
負債の部		
流動負債	32,258	30,669
固定負債	20,930	18,062
負債合計	53,189	48,731
純資産の部		
株主資本	40,657	43,312
その他の包括利益累計額	7,047	4,983
純資産合計	47,704	48,296
負債純資産合計	100,893	97,027

連結損益計算書(要約)

(単位:百万円)

科 目	前連結会計期間 (自 平成26年4月 1日 至 平成27年3月31日)	当連結会計期間 (自 平成27年4月 1日 至 平成28年3月31日)
売上高	101,365	102,125
売上原価	85,642	84,357
売上総利益	15,723	17,767
販売費及び一般管理費	10,550	11,324
営業利益	5,172	6,443
営業外収益	794	633
営業外費用	220	637
経常利益	5,747	6,439
特別利益	1,282	18
特別損失	1,620	727
税金等調整前当期純利益	5,409	5,730
法人税、住民税及び事業税	1,712	2,029
法人税等調整額	247	94
当期純利益	3,450	3,606
親会社株主に帰属する当期純利益	3,450	3,606

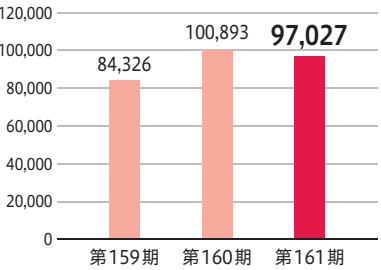
連結キャッシュ・フロー計算書(要約)

(単位:百万円)

科 目	前連結会計期間 (自 平成26年4月 1日 至 平成27年3月31日)	当連結会計期間 (自 平成27年4月 1日 至 平成28年3月31日)
営業活動による キャッシュ・フロー	7,460	5,031
投資活動による キャッシュ・フロー	△1,853	△2,535
財務活動による キャッシュ・フロー	5,954	△3,433
現金及び現金同等物に 係る換算差額	260	△423
現金及び現金同等物の 増減額	11,822	△1,360
現金及び現金同等物の 期首残高	8,197	20,095
新規連結に伴う現金及び 現金同等物の増加額	75	301
現金及び現金同等物の 期末残高	20,095	19,036

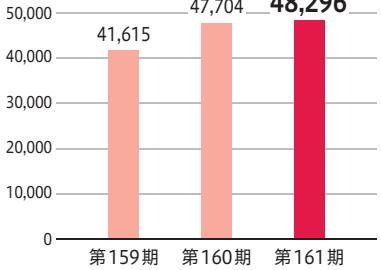
総資産

(単位:百万円)



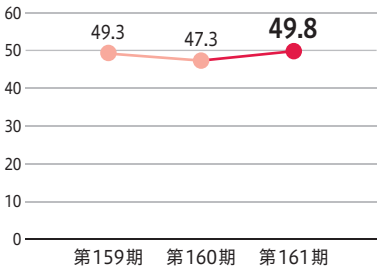
純資産

(単位:百万円)



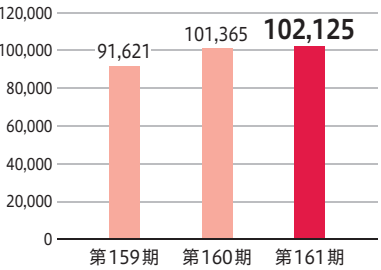
自己資本比率

(単位:%)



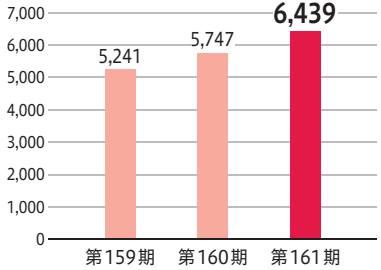
売上高

(単位:百万円)



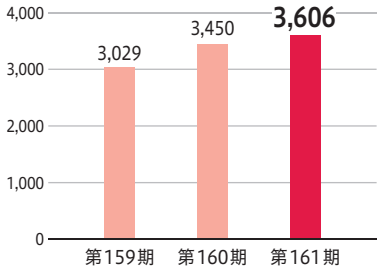
経常利益

(単位:百万円)



親会社株主に帰属する
当期純利益

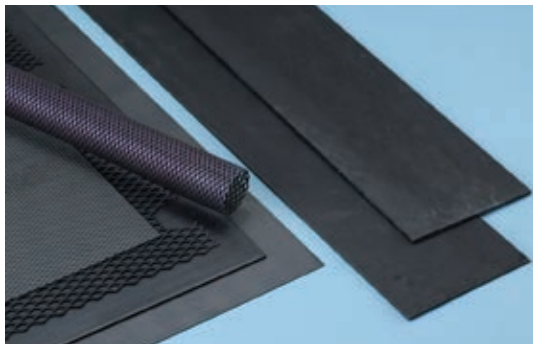
(単位:百万円)





◎ダイソーケミカル株式会社

設 立 年 月：1956[昭和31]年8月
 本 社 所 在 地：〒550-0011 大阪市西区阿波座1-12-18
 資 本 金：90百万円
 出 資 比 率：大阪ソーダ100%
 事 業 内 容：化学製品の販売
 主な取扱い品目：無機薬品・各種溶剤などの基礎化学品、塗料・接着剤原料・
 感光性樹脂などの機能化学品、印刷関連機材・電極・吸水性樹脂、
 グラスファイバーなど
 事 業 所：本社／東京支社／九州営業所、松山営業所、三島営業所／三島基地



◎ダイソーエンジニアリング株式会社

設 立 年 月：1975[昭和50]年4月
 本 社 所 在 地：〒550-0011 大阪市西区阿波座1-12-18
 資 本 金：80百万円
 出 資 比 率：大阪ソーダ100%
 事 業 内 容：電極の製造・販売、化学設備の設計・施工
 主な取扱い品目：[電極]塩素発生用、水素発生用、酸素発生用、水電解用
 [化学設備]クロール・アルカリ、無機化学・有機化学、環境保全、
 エネルギー関連など
 事 業 所：本社／東京営業部／小倉営業所、松山営業所／尼崎電極工場

◎サンヨーファイン株式会社

設 立 年 月：1982[昭和57]年2月
 本 社 所 在 地：〒550-0011 大阪市西区阿波座1-12-18
 資 本 金：50百万円
 出 資 比 率：大阪ソーダ100%
 事 業 内 容：医薬品原薬・中間体の製造・販売
 主な取扱い品目：バイオケミカル、保護アミノ酸およびペプチド合成、
 光学活性化合物の合成、有機合成、受託合成、臨床検査薬
 事 業 所：本社／東京営業所／加古川事業所／松山工場、福井工場／
 尼崎研究センター



◎株式会社ジェイ・エム・アール

設 立 年 月：2001[平成13]年6月
 本 社 所 在 地：〒660-0842 兵庫県尼崎市大高洲町9-2
 資 本 金：30百万円
 出 資 比 率：ダイソーエンジニアリング100%
 事 業 内 容：資源リサイクル、蛍光灯・水銀灯、ナトリウム灯、産業用途の特殊紫外線ランプ
 (放電管)などからの水銀回収およびガラス・金属類などの再資源化



◎DSロジスティクス株式会社

設 立 年 月：2008[平成20]年10月
 本 社 所 在 地：〒660-0842 兵庫県尼崎市大高洲町11番地
 資 本 金：20百万円
 出 資 比 率：大阪ソーダ100%
 事 業 内 容：化学製品の受注・積込、構内作業、運送取り扱いなど
 主な取扱い品目：かせいソーダ、液体塩素、塩酸、エピクロルヒドリンなど
 事 業 所：本社／小倉事業所、尼崎事業所、松山事業所、水島事業所



◎岡山化成株式会社

設 立 年 月：1968[昭和43]年12月
 本 社 所 在 地：〒550-0011 大阪市西区阿波座1-12-18
 資 本 金：50百万円
 出 資 比 率：大阪ソーダ100%
 事 業 内 容：化学製品の製造
 主な取扱い品目：かせいソーダ、塩素ガス、水素、次亜塩素酸ソーダ
 事 業 所：本社／水島工場

○DSウェルフーズ株式会社

設 立 年 月：2006[平成18]年11月
 本 社 所 在 地：〒550-0011 大阪市西区阿波座1-12-18
 資 本 金：40百万円
 出 資 比 率：サンヨーファイン100%
 事 業 内 容：健康食品の製造、加工販売
 主な取扱い品目：アクアβスティックなど





◎大曹化工貿易(上海)有限公司

設 立 年 月：2005[平成17]年10月
本 社 所 在 地：〒200051 上海市長寧区婁山関路523号 金虹橋国際中心I座901室
資 本 金：4,016千元
出 資 比 率：大阪ソーダ35%、ダイソーケミカル65%
事 業 内 容：機能化学品・電子材料などの輸出入



◎台灣大曹化工股份有限公司

設 立 年 月：2006[平成18]年3月
本 社 所 在 地：〒104 台灣台北市中山區中山北路2段96號13樓 嘉新大樓13F
資 本 金：5,000千NTドル
出 資 比 率：ダイソーケミカル100%
事 業 内 容：機能化学品・電子材料などの輸出入



◎DAISO Fine Chem USA, Inc.

設 立 年 月：2006[平成18]年4月
本 社 所 在 地：3858 Carson Street, Suite 126 Torrance, CA 90503
資 本 金：1米ドル
出 資 比 率：大阪ソーダ100%
事 業 内 容：液体クロマトグラフィー用シリカゲルの販売、カラムの製造・販売



◎DAISO Fine Chem GmbH

設 立 年 月：2008[平成20]年1月
本 社 所 在 地：Immermannstrasse 13, 40210, Düsseldorf, Germany
資 本 金：25千ユーロ
出 資 比 率：大阪ソーダ100%
事 業 内 容：液体クロマトグラフィー用シリカゲル、医薬品原薬・中間体の販売



◎DAISO CHEMICAL (THAILAND) CO., LTD.

設 立 年 月：2012[平成24]年7月
本 社 所 在 地：54 Harindhorn Tower, 9th floor, unit 9F, North Sathorn Rd, Silom, Bangrak, Bangkok 10500, Thailand
資 本 金：25百万バーツ
出 資 比 率：大阪ソーダ35%、ダイソーケミカル65%
事 業 内 容：機能化学品・電子材料などの輸出入

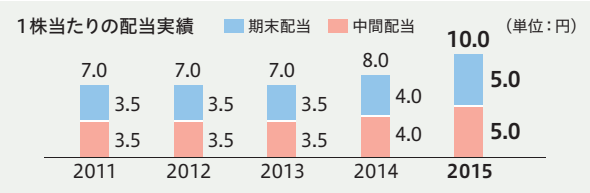
株式の状況

発行可能株式総数 ----- 300,000,000株
発行済株式の総数 ----- 111,771,671株
株主数 ----- 5,964名

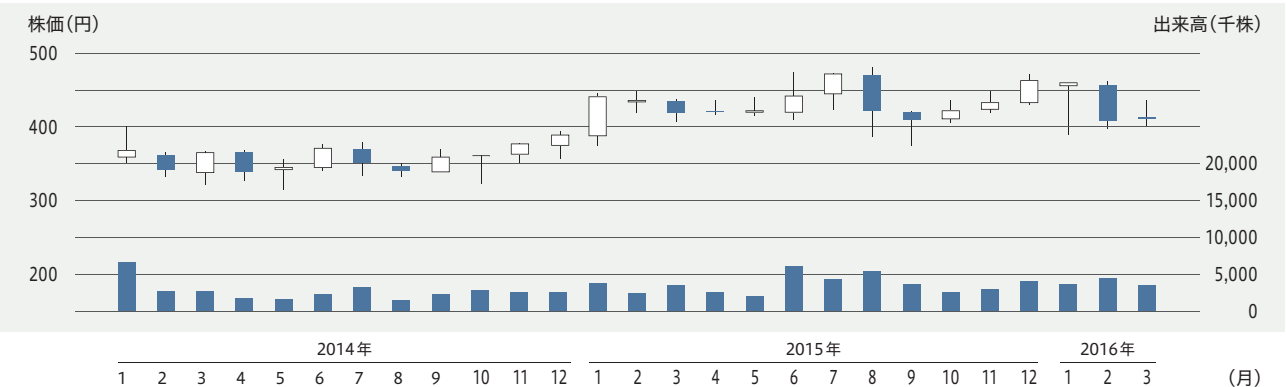
配当金

当期の配当金は、中間配当金とあわせ、1株当たり10円とさせていただきます。

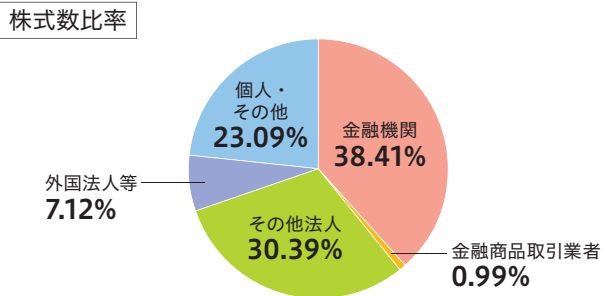
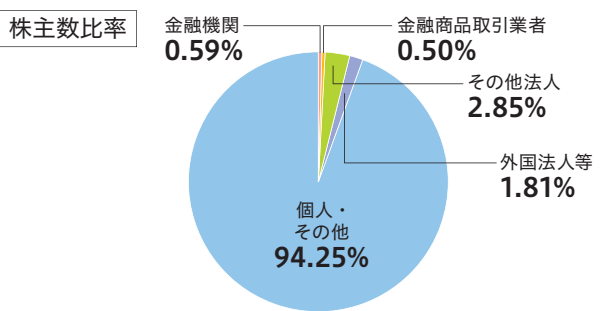
1. 期末配当金 1株当たり5円
2. 支払対象者 2016年3月31日現在の最終の株主名簿に記載または記録された株主または登録株式質権者
3. 支払開始日 平成28年6月13日(月)



株価および出来高の推移



株主分布状況



(注)「個人・その他」には、当社の自己株としての保有分(5.74%)が含まれております。

会社概要(平成28年3月31日)

社 名 ----- 株式会社大阪ソーダ
OSAKA SODA CO., LTD.
U R L ----- <http://www.osaka-soda.co.jp/>
創 立 ----- 1915年(大正4年)10月26日
資 本 金 ----- 10,882百万円
連結従業員数 ----- 820名

大株主一覧(上位10名)

株 主 名	持株数(千株)	出資比率(%)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	5,157	4.89
株式会社三菱東京UFJ銀行	4,384	4.16
株式会社福岡銀行	4,113	3.90
損害保険ジャパン日本興亜株式会社	3,842	3.64
株式会社伊予銀行	3,744	3.55
帝人株式会社	3,393	3.22
株式会社みずほ銀行	3,348	3.17
日本生命保険相互会社	3,188	3.02
旭化成ケミカルズ株式会社	2,933	2.78
ダイソー協栄会	2,838	2.69

(注)出資比率は、発行済株式の総数から自己株式(6,419,632株)を控除して計算しております。

役員(平成28年6月29日)

[取締役・監査役]

代 表 取 締 役 社 長 執 行 役 員	佐 藤 存
取 締 役 常 務 執 行 役 員	赤 松 伸 一
取 締 役 常 務 執 行 役 員	寺 田 健 志
取 締 役 上 席 執 行 役 員	堀 登
取 締 役 上 席 執 行 役 員	古 川 喜 朗
取 締 役(社外)	福 島 功
取 締 役(社外)	二 村 文 友
常 勤 監 査 役	瀬 川 恭 史
常 勤 監 査 役(社外)	谷 口 隆 治
監 査 役(社外)	森 真 二

[執行役員]

執 行 役 員	高 野 早 人
執 行 役 員	小 西 淳 夫
執 行 役 員	門 屋 純 一
執 行 役 員	雑 賀 哲 行
執 行 役 員	北 野 智 之
執 行 役 員	中 島 与 志 明
執 行 役 員	川 端 一 弥
執 行 役 員	西 本 光 伸
執 行 役 員	森 裕 治 郎

事業所等の状況(平成28年3月31日)

